



2023年3月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)

2023年5月12日

上場会社名 株式会社宇野澤組鐵工所 上場取引所 東
 コード番号 6396 URL <https://www.unozawa.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 樋口 勉
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 高木 貴温 (TEL) 03-3759-4191
 定時株主総会開催予定日 2023年6月27日 配当支払開始予定日 2023年6月28日
 有価証券報告書提出予定日 2023年6月27日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期の業績 (2022年4月1日～2023年3月31日)

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	5,105	16.5	444	73.5	468	74.2	352	116.6
2022年3月期	4,380	8.4	256	13.4	269	22.5	162	11.2

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年3月期	319.18	—	14.9	6.1	8.7
2022年3月期	147.39	—	7.6	3.7	5.8

(参考) 持分法投資損益 2023年3月期 ー百万円 2022年3月期 ー百万円

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
2023年3月期	7,887	2,533	32.1	2,294.05
2022年3月期	7,368	2,207	30.0	1,999.02

(参考) 自己資本 2023年3月期 2,533百万円 2022年3月期 2,207百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
2023年3月期	457	△525	△81	2,405
2022年3月期	509	△125	△114	2,555

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
2022年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00	33	20.4	1.5
2023年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00	55	15.7	2.3
2024年3月期 (予想)	—	0.00	—	50.00	50.00		20.5	

3. 2024年3月期の業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,500	4.3	190	△16.7	190	△23.1	130	△21.7	117.70
通期	5,000	△2.1	390	△12.3	390	△16.8	270	△23.4	244.45

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(2) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期	1,120,000 株	2022年3月期	1,120,000 株
② 期末自己株式数	2023年3月期	15,487 株	2022年3月期	15,487 株
③ 期中平均株式数	2023年3月期	1,104,513 株	2022年3月期	1,104,513 株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・業績予想につきましては発表日現在の将来に関する見通し・計画に基づく予測が含まれており、予想につきましては様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績が記載の予想数値と異なる場合があります。なお、上記業績予想に関する事項は添付資料4ページをご参照ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 財務諸表及び主な注記	5
(1) 貸借対照表	5
(2) 損益計算書	8
(3) 株主資本等変動計算書	10
(4) キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(会計方針の変更)	14
(セグメント情報)	14
(持分法損益等)	16
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	16

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当事業年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症にかかる行動制限が緩和され、経済社会活動の正常化が進む一方、ウクライナ情勢の長期化、資源・エネルギー価格の高騰、半導体等部品供給の不足等、依然として不透明な状況で推移しております。

このような環境のなか、製造事業の業績が改善し、会社全体として増収増益となりました。売上高は5,105百万円(前年同期比16.5%増)となりました。損益面におきましては、営業利益444百万円(前年同期比73.5%増)、経常利益468百万円(前年同期比74.2%増)、当期純利益352百万円(前年同期比116.6%増)となりました。

セグメント別の概況は以下のとおりです。

① 製造事業

主に半導体製造装置向け真空ポンプ、一般産業向け送風機及び部品売上が増加し、製造事業の売上高は前年同期比737百万円増加の4,452百万円(前年同期比19.9%増)となりました。損益面におきましては、セグメント損失51百万円(前年同期はセグメント損失264百万円)と前年同期比増益となりました。

売上高を製品別に示しますと、真空ポンプは2,210百万円(前年同期比13.8%増)、送風機・圧縮機は1,016百万円(前年同期比59.3%増)、部品は779百万円(前年同期比12.5%増)、修理は446百万円(前年同期比1.2%増)の結果となりました。

また、輸出関係におきましては、売上高は420百万円(前年同期比46.8%増)となりました。

② 不動産事業

売上高652百万円(前年同期比1.9%減)、セグメント利益495百万円(前年同期比4.8%減)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当事業年度末の財政状態は、前事業年度末と比べ、総資産は519百万円増加し7,887百万円、負債は193百万円増加し5,353百万円、純資産は325百万円増加し2,533百万円となりました。

総資産の増加は、受取手形が321百万円減少したものの、電子記録債権が249百万円、売掛金が255百万円、機械及び装置が216百万円増加したこと等が主な要因です。

負債の増加は、支払手形が86百万円減少したものの、電子記録債務が236百万円、買掛金が62百万円増加したこと等が主な要因です。

純資産の増加は、利益剰余金が319百万円増加したこと等が主な要因です。

この結果、自己資本比率は32.1%(前事業年度末は30.0%)となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前事業年度末に比べ149百万円減少し、2,405百万円となりました。

当事業年度における各区分ごとのキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権及び契約資産の増加202百万円、棚卸資産の増加192百万円等の減少要因があったものの、税引前当期純利益467百万円、減価償却費192百万円、仕入債務の増加213百万円等の増加要因により、457百万円の資金の増加（前年同期は509百万円の資金の増加）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出468百万円等により、525百万円の資金の減少（前年同期は125百万円の資金の減少）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入れによる収入930百万円、長期借入金の返済による支出978百万円等により、81百万円の資金の減少（前年同期は114百万円の資金の減少）となりました。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
自己資本比率 (%)	25.8	26.6	29.3	30.0	32.1
時価ベースの 自己資本比率 (%)	30.1	35.2	41.9	37.8	35.7
キャッシュ・フロー対 有利子負債比率 (年)	25.0	8.2	5.9	5.0	5.5
インタレスト・ カバレッジ・レシオ (倍)	4.1	13.2	21.0	26.3	25.0

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注1) 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

(注2) キャッシュ・フローは、キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。

(注3) 有利子負債は貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としております。

(4) 今後の見通し

次期の見通しとしましては、新型コロナウイルス感染症にかかる行動制限が解除され、経済社会活動の正常化が進む一方、ウクライナ情勢の長期化、資源・エネルギー価格の高騰、半導体等部品供給の不足に加え、金融引き締めによる世界景気の下振れ懸念等、当社を取り巻く環境は引き続き厳しい状況で推移するとみられます。そのような環境のなか、生産性の改善を図り利益の確保に努めてまいります。

(5) 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は日本基準による非連結決算を実施しております。今後のIFRS（国際財務報告基準）導入に関する動向を注視しつつ、適切に対応する体制の整備に努めてまいります。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当事業年度 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,555,292	2,405,969
受取手形	430,619	109,357
電子記録債権	501,092	750,525
売掛金	577,283	832,988
契約資産	—	18,769
製品	71,803	70,763
仕掛品	278,341	347,488
原材料及び貯蔵品	453,197	577,574
前渡金	9,983	39
前払費用	15,826	16,922
未収入金	3,364	12,915
その他	781	1,731
貸倒引当金	△605	△686
流動資産合計	4,896,981	5,144,358
固定資産		
有形固定資産		
建物	3,990,830	4,103,045
減価償却累計額	△2,747,280	△2,825,493
建物(純額)	1,243,550	1,277,552
構築物	38,953	47,737
減価償却累計額	△14,278	△17,351
構築物(純額)	24,674	30,385
機械及び装置	977,264	1,216,405
減価償却累計額	△891,419	△913,988
機械及び装置(純額)	85,844	302,416
車両運搬具	17,805	17,805
減価償却累計額	△17,148	△17,476
車両運搬具(純額)	656	328
工具、器具及び備品	979,105	991,934
減価償却累計額	△921,976	△939,753
工具、器具及び備品(純額)	57,129	52,181
土地	631,643	675,830
建設仮勘定	11,020	—
有形固定資産合計	2,054,520	2,338,694
無形固定資産		
ソフトウェア	49,375	29,349
電話加入権	1,070	1,070
無形固定資産合計	50,445	30,420

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当事業年度 (2023年3月31日)
投資その他の資産		
投資有価証券	300,773	310,078
出資金	1,167	1,167
従業員に対する長期貸付金	5,217	4,107
破産更生債権等	2,489	2,716
長期前払費用	9,017	7,702
差入保証金	5,829	5,786
生命保険積立金	44,129	44,130
繰延税金資産	—	1,284
貸倒引当金	△2,491	△2,717
投資その他の資産合計	366,132	374,256
固定資産合計	2,471,098	2,743,371
資産合計	7,368,080	7,887,730

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当事業年度 (2023年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	155,244	68,665
電子記録債務	530,510	767,312
買掛金	190,059	252,897
1年内返済予定の長期借入金	916,565	845,192
未払金	96,983	64,549
未払費用	53,719	61,530
未払法人税等	79,137	106,858
前受金	60,200	138,145
預り金	8,037	8,173
前受収益	5,845	2,922
賞与引当金	63,890	75,054
製品保証引当金	7,506	15,753
設備関係支払手形	13,640	3,839
設備関係電子記録債務	25,624	17,533
その他	786	915
流動負債合計	2,207,750	2,429,344
固定負債		
長期借入金	1,654,959	1,677,767
繰延税金負債	30,974	—
退職給付引当金	553,976	577,499
役員退職慰労引当金	139,217	141,197
資産除去債務	16,301	16,301
長期預り保証金	554,034	511,814
長期前受収益	2,922	—
固定負債合計	2,952,385	2,924,578
負債合計	5,160,135	5,353,923
純資産の部		
株主資本		
資本金	785,000	785,000
資本剰余金		
資本準備金	303,930	303,930
その他資本剰余金	0	0
資本剰余金合計	303,931	303,931
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	989,322	1,308,725
利益剰余金合計	989,322	1,308,725
自己株式	△29,992	△29,992
株主資本合計	2,048,261	2,367,664
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	159,683	166,142
評価・換算差額等合計	159,683	166,142
純資産合計	2,207,945	2,533,806
負債純資産合計	7,368,080	7,887,730

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
売上高	4,380,657	5,105,174
売上原価		
製品期首棚卸高	67,277	71,803
当期製品製造原価	3,368,815	3,881,543
合計	3,436,092	3,953,346
製品期末棚卸高	71,803	70,763
製品売上原価	3,364,289	3,882,583
不動産事業売上原価	144,815	156,889
売上原価合計	3,509,105	4,039,472
売上総利益	871,552	1,065,702
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	81,162	88,856
旅費及び交通費	10,504	12,280
役員報酬	81,540	81,810
給料及び手当	159,148	151,343
賞与引当金繰入額	11,074	11,584
福利厚生費	41,418	43,330
退職給付費用	14,639	13,735
役員退職慰労引当金繰入額	8,730	8,730
租税公課	24,286	27,354
通信費	7,202	7,128
支払手数料	73,373	70,182
減価償却費	42,425	41,443
研究開発費	5,370	14,319
その他	54,406	48,903
販売費及び一般管理費合計	615,284	621,001
営業利益	256,267	444,700
営業外収益		
受取利息	135	75
受取配当金	7,898	9,450
助成金収入	2,640	—
違約金収入	371	8,907
受取賃貸料	8,688	7,696
受取補償金	5,845	6,242
受取ロイヤリティー	516	1,485
作業くず売却益	3,578	3,830
その他	4,221	5,522
営業外収益合計	33,895	43,210
営業外費用		
支払利息	19,418	18,404
支払補償費	1,050	—
その他	473	570
営業外費用合計	20,942	18,975
経常利益	269,219	468,935

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
特別利益		
固定資産売却益	199	179
投資有価証券売却益	9,700	—
特別利益合計	9,899	179
特別損失		
固定資産除却損	5,932	1,433
固定資産売却損	—	42
特別損失合計	5,932	1,475
税引前当期純利益	273,187	467,640
法人税、住民税及び事業税	109,127	150,208
法人税等調整額	1,270	△35,106
法人税等合計	110,398	115,102
当期純利益	162,788	352,538

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本							株主資本 合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		自己株式	
		資本準備金	その他 資本剰余金	資本剰余金 合計	その他 利益剰余金 繰越利益 剰余金	利益剰余金 合計		
当期首残高	785,000	303,930	0	303,931	859,669	859,669	△29,992	1,918,607
当期変動額								
剰余金の配当					△33,135	△33,135		△33,135
当期純利益					162,788	162,788		162,788
株主資本以外の項目 の当期変動額 (純額)								
当期変動額合計					129,653	129,653		129,653
当期末残高	785,000	303,930	0	303,931	989,322	989,322	△29,992	2,048,261

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証 券評価差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	164,892	164,892	2,083,500
当期変動額			
剰余金の配当			△33,135
当期純利益			162,788
株主資本以外の項目 の当期変動額 (純額)	△5,208	△5,208	△5,208
当期変動額合計	△5,208	△5,208	124,445
当期末残高	159,683	159,683	2,207,945

当事業年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本							株主資本 合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		自己株式	
		資本準備金	その他 資本剰余金	資本剰余金 合計	その他 利益剰余金 繰越利益 剰余金	利益剰余金 合計		
当期首残高	785,000	303,930	0	303,931	989,322	989,322	△29,992	2,048,261
当期変動額								
剰余金の配当					△33,135	△33,135		△33,135
当期純利益					352,538	352,538		352,538
株主資本以外の項目 の当期変動額 (純額)								
当期変動額合計					319,402	319,402		319,402
当期末残高	785,000	303,930	0	303,931	1,308,725	1,308,725	△29,992	2,367,664

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証 券評価差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	159,683	159,683	2,207,945
当期変動額			
剰余金の配当			△33,135
当期純利益			352,538
株主資本以外の項目 の当期変動額 (純額)	6,458	6,458	6,458
当期変動額合計	6,458	6,458	325,861
当期末残高	166,142	166,142	2,533,806

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	273,187	467,640
減価償却費	192,267	192,704
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	245	307
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	902	8,247
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△675	11,163
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	14,283	23,523
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	8,730	1,980
受取利息及び受取配当金	△8,034	△9,526
支払利息	19,418	18,404
固定資産除却損	5,932	1,433
固定資産売却損	—	42
固定資産売却益	△199	△179
投資有価証券売却損益 (△は益)	△9,700	—
受取保険金	△97	△433
支払補償費	1,050	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△26,204	—
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	—	△202,872
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△29,124	△192,483
その他の資産の増減額 (△は増加)	△6,262	△485
仕入債務の増減額 (△は減少)	238,003	213,061
前受金の増減額 (△は減少)	△42,462	77,945
その他の負債の増減額 (△は減少)	△11,839	△20,602
小計	619,420	589,869
利息及び配当金の受取額	8,077	9,534
利息の支払額	△19,336	△18,334
法人税等の支払額	△97,819	△123,999
保険金の受取額	97	433
補償費の支払額	△1,050	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	509,389	457,503
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△110,077	△468,232
有形固定資産の除却による支出	△5,292	△1,116
無形固定資産の取得による支出	△9,595	△15,020
投資有価証券の売却による収入	10,200	—
従業員に対する長期貸付金の回収による収入	5,775	1,110
預り保証金の返還による支出	△31,055	△53,631
預り保証金の受入による収入	14,707	11,411
その他	243	181
投資活動によるキャッシュ・フロー	△125,095	△525,297

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	897,000	930,000
長期借入金の返済による支出	△978,259	△978,565
配当金の支払額	△32,902	△32,963
財務活動によるキャッシュ・フロー	△114,161	△81,528
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	270,132	△149,322
現金及び現金同等物の期首残高	2,285,160	2,555,292
現金及び現金同等物の期末残高	2,555,292	2,405,969

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当事業年度の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は真空ポンプ、ブロワ等各種ポンプの製造販売事業を展開している「製造事業」とオフィスビルを中心に不動産賃貸事業を展開している「不動産事業」の2つを報告セグメントとしております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「重要な会計方針」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報

前事業年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)	財務諸表 計上額
	製造事業	不動産事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,715,059	665,597	4,380,657	—	4,380,657
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,715,059	665,597	4,380,657	—	4,380,657
セグメント利益又は損失(△)	△264,514	520,781	256,267	—	256,267
セグメント資産	3,073,766	1,374,756	4,448,522	2,919,557	7,368,080
その他の項目					
減価償却費	143,706	48,475	192,182	85	192,267
有形固定資産 及び無形固定資産の増加額	103,252	25,451	128,704	330	129,035

(注) セグメント資産の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。全社資産は主に報告セグメントに帰属しない現預金であります。

当事業年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)	財務諸表 計上額
	製造事業	不動産事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,452,527	652,646	5,105,174	—	5,105,174
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,452,527	652,646	5,105,174	—	5,105,174
セグメント利益又は損失(△)	△51,057	495,757	444,700	—	444,700
セグメント資産	3,736,545	1,355,708	5,092,254	2,795,475	7,887,730
その他の項目					
減価償却費	143,908	47,602	191,511	1,193	192,704
有形固定資産 及び無形固定資産の増加額	423,028	27,628	450,657	7,514	458,172

(注) セグメント資産の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。全社資産は主に報告セグメントに帰属しない現預金であります。

(持分法損益等)

当社は関連会社を有していないため、該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
1株当たり純資産額	1,999円02銭	2,294円05銭
1株当たり当期純利益	147円39銭	319円18銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
当期純利益(千円)	162,788	352,538
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	162,788	352,538
普通株式の期中平均株式数(千株)	1,104	1,104

(重要な後発事象)

該当事項はありません。